

## (4) 教育文化

〈学校教育、生涯学習、男女共同参画、スポーツ、文化・芸術、歴史・文化財〉

## 小中学校非構造部材耐震点検事業

- 1 事業年度 平成 2 4 年度
- 2 予算額 1 4 , 4 9 0 千円
- 3 目的・効果 予期せぬ地震への被害に備えて、非構造部材の耐震点検を実施します。



70

### 4 事業概要

地震による落下物や転倒物等の被害から子どもたちの生命を守ることを目的として、非構造部材の耐震点検を行います。

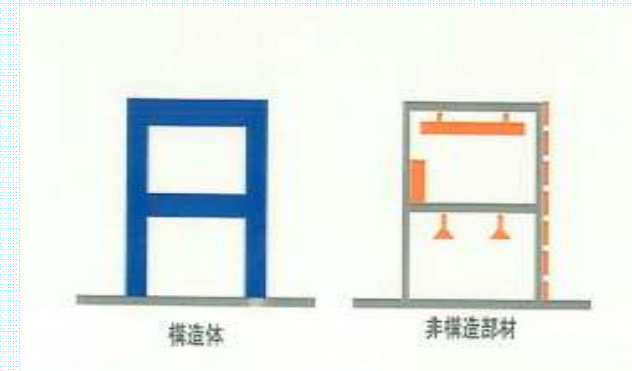
#### ○非構造部材とは

天井材、壁の外装材・内装材、照明器具、放送機器、窓ガラス等

#### ○地震時の非構造部材による被害例

天井材・壁の外装材・内装材の脱落、照明器具の脱落、ガラスの破損、書棚の転倒等

○対象施設：小学校（小牧小学校を除く 1 5 校）、中学校（味岡中学校を除く 8 校）



## 拡充

# 小中学校施設営繕事業

- 1 予算額 275,331千円
- 2 目的 小中学校において学校施設を安全で快適な環境に整備し、学校運営が滞りなく行えるようにします。
- 3 効果 安心して学ぶことのできる学習環境と快適に過ごせる施設が提供できます。



## 4 事業概要

### 校内インターホン設置工事

校舎内への不審者の侵入、児童・生徒のけがや持病の発生等の緊急時の教職員による早急な対応のため、各教室と職員室を結ぶインターホンを順次整備します。

篠岡小、味岡小、  
北里中、岩崎中

### 防犯カメラ設置工事

外部からの不審者の校内侵入や器物破損を抑止する防犯対策として防犯カメラを順次整備します。

米野小、小木小、  
小牧中、応時中

### その他各種営繕工事

- ・ 体育館非常灯設備設置工事  
(中学校のうち味岡中を除く8校)
- ・ 体育館地デジアンテナ設置工事  
(三ツ淵小、北里小、一色小、本庄小、大城小、応時中、桃陵中)
- ・ トイレ改修工事 (光ヶ丘小)
- ・ 放送設備改修工事  
(本庄小、小牧西中) 等

## 小中学校改築事業

- 1 予算額 521,626千円
- 2 目的 老朽化した学校施設を改築し、施設環境の整備をします。
- 3 効果 安心して学ぶことのできる学習環境と快適に過ごせる施設が提供できます。

### 4 事業概要

#### ○小牧小学校

平成24年度：既存校舎解体、体育館、プール、  
外構整備

改築後の主な建物

校舎：RC造4階建 約8,400㎡

体育館：RC造(一部鉄骨造)2階建 約1,580㎡

プール：25m

#### ○味岡中学校

・平成24年度：実施設計

・平成25・26年度：建築工事



小牧小学校完成予想図

新規

## デジタル教科書導入事業

1 予算額 29,200千円

2 目的・効果 教科書の内容に加え、関連する様々な映像や音声等多くの情報を有しており、編集、移動、追加、削除などの機能を備えるデジタル教科書を整備し、大型モニターに表示することにより児童・生徒にとって「よりよく分かる、魅力ある授業」になります。

3 事業概要 小学校（全校導入）

導入教科

- ・国語（1～6学年）
- ・算数（1～6学年）
- ・理科（3～6学年）
- ・社会（3～6学年）
- ・社会（地図帳）
- ・家庭科

中学校（全校導入）

導入教科

- ・国語（1～3学年）
- ・数学（1～3学年）
- ・英語（1～3学年）
- ・理科（1～3学年）
- ・新しい家庭・技術



## マニフェスト・拡充 外国人児童生徒教育推進事業

- 1 予算額 50,145千円
- 2 目的 日本語が不自由な子どもたちに、就学の機会を適切に確保します。
- 3 効果 児童生徒の受入体制が整備され、保護者との連絡が充実します。

### 4 事業概要



#### ○にじっこ教室(日本語初期教室)

・編入学して間もない等、市内の小中学校に就学する日本語がほとんどわからない外国人児童生徒を対象に、約3か月間集中的に日本語や日本の学校生活におけるルールの習得を補助します。(場所：大城小学校内)

#### ○語学相談員

・母語(ポルトガル語など)を話せる職員が、各学校を巡回して通訳・翻訳業務を行い、児童生徒の学習・進路等の相談や保護者との連絡を補助します。今年度は、タガログ語の語学相談員を1名増員します。

#### ○日本語指導員

・初歩的な日本語の理解や日本の学校生活への適応のため、各学校を巡回し、指導にあたります。



## 史跡小牧山整備事業

- 1 予算額 63,468千円
- 2 目的 史跡小牧山が、市のシンボルとして多くの市民が誇りと愛着を持てるよう、歴史と自然を調和させた整備を進めます。
- 3 効果 整備を通じて織田信長が築いた小牧山城の歴史的価値を情報発信することによって、歴史を学び、緑豊かな市民の憩いの場となるとともに、市民の誇りになることが期待できます。
- 75 4 事業概要 「史跡小牧山整備計画基本構想」で第2期整備に位置づけられた主郭地区（山頂を中心とする中腹までの区域）の整備を、「史跡小牧山主郭地区整備基本計画」に基づき進めます。  
本年度は第5次発掘調査（調査面積約460㎡）を実施するほか、市役所本庁舎跡地整備の実施設計、歴史館等給水施設の整備、史跡小牧山バス専用駐車場の舗装を実施します。

### 今後の計画

平成24年度 第5次発掘調査  
市役所本庁舎跡地整備実施設計  
平成25年度 第6次発掘調査、市役所本庁舎跡地整備  
平成26年度 第7次発掘調査  
整備計画総面積 34,700㎡



## 体育施設整備事業

1 予算額 74,393千円

2 目的 体育施設環境の整備を行い、利用者の利便性の向上を図るとともに、安全で安心して利用できる施設を提供します。

### 3 事業概要

#### <温水プール>

- ・利用者が入場待ちをする通路に庇を設置するなど利便性を向上します。
- ・造波プール等の塗装を行い、施設環境の整備をします。

#### <南スポーツセンター>

- ・武道館周りのガス管を交換して安全を確保します。
- ・ナイター照明の受電設備を交換し、快適な施設整備をします。

#### <総合運動場>

- ・市民球場のスコアボードをルールに合わせた表示に変更することにより利用者の利便性の向上を図ります。
- ・放送設備を交換し、さらなる利用者の利便性の向上を図ります。
- ・陶グラウンドに庇を設置し、夏場の熱中症を予防します。

